

PAT-NO: JP405081298A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05081298 A
TITLE: CREDIT TRANSACTION PROCESSOR
PUBN-DATE: April 2, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
KOIE, KOJI
ITOU, TOSHIHIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME BROTHER IND LTD	COUNTRY N/A
-------------------------	----------------

APPL-NO: JP03241512

APPL-DATE: September 20, 1991

INT-CL (IPC): G06F015/21, G06F015/30

ABSTRACT:

PURPOSE: To simply and correctly specify selected contents by displaying available paying methods, frequency, etc., stored based upon a company code and selecting a required contents from the display.

CONSTITUTION: Card information such as a card company corresponding to a credit card used is read out by reading out the card and written in a RAM 36 to receive an input from a keyboard 4. Sales data such as an amount are inputted, card information stored in a CPU 34 and the RAM 36 by payment dividing operation to search the company code. When there is no company code, the input

of the code is displayed and an available paying method corresponding to a company code inputted from the keyboard 4 is selected. After the operation, stored contents such as a card number read out from the credit card or transaction data inputted from the keyboard 4 are transmitted to a center corresponding to the card company through a MODEM 37, processed result data are received and stored in the RAM 36, and then transction data are printed out by a printer 5.

COPYRIGHT: (C)1993, JPO&Japio

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-81298

(43)公開日 平成5年(1993)4月2日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/21	3 4 0 A	7218-5L		
15/30	3 5 0 A	6798-5L		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 6 頁)

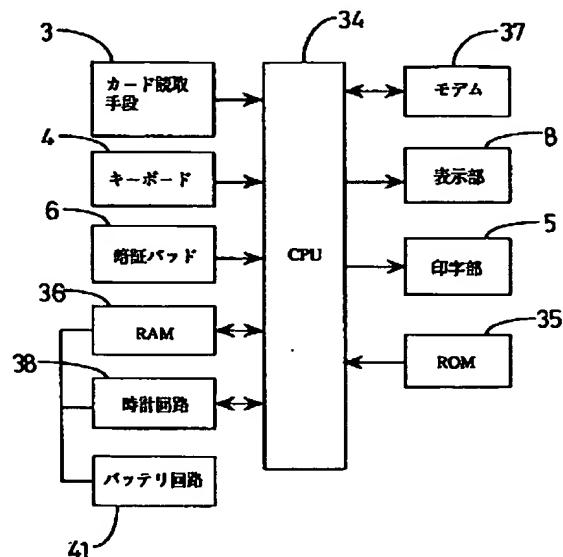
(21)出願番号	特願平3-241512	(71)出願人	000005267 プラザー工業株式会社 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号
(22)出願日	平成3年(1991)9月20日	(72)発明者	鯉江 浩司 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号プラザー工 業株式会社内
		(72)発明者	伊藤 才弘 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号プラザー工 業株式会社内

(54)【発明の名称】 クレジット取引処理装置

(57)【要約】

【目的】 クレジット取引処理装置において会社コードにより記憶しておいた使用可能な支払方法、回数等を表示し、その中より選択することにより簡単に間違いなく指定することができる。

【構成】 会社コードが記録されたクレジットカードより会社コードを読みとるカード読み取り手段、または会社コード等を入力する入力手段と、会社コード別に支払い方法を特定する選択データが格納されている記憶手段と、可能な支払い手段を表示する表示手段を備えている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 会社コードが記録されたクレジットカードより会社コードを読みとるカード読み取り手段、または会社コード等を入力する入力手段と、会社コード別に支払い方法を特定する選択データが格納されている記憶手段と、可能な支払い方法を表示する表示手段と、表示された支払い方法を前記入力手段により選択できることを特徴とするクレジット取引処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、クレジットカードを用いて取を行なうクレジット取引処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、こうしたクレジット取引処理装置において、カード会社の支払い方法の情報を持っているものがあった（特開昭61-226873号公報）。また、カードに入っている会社コードのみしか扱えず、会社コードに対応するそれぞれのソフトが必要であった（特公平3-19598号公報）。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来のクレジット取引処理装置においては、どの方法が使えるのか販売員には分からず入力後のエラー表示を見て再入力しなければならなかつた。

【0004】 しかしながら、本発明は、上述した問題点を解決するためになされたものであり、クレジットカードから読みとった会社コードまたはクレジットカードに会社コードが入っていない場合はキーから入力された会社コードにより、記憶装置に記憶された会社コード別可能取引情報より、可能な取引形態、例えば一括払い、分割払い、リボルビング等の情報を表示しそのなかから選択できることにより操作ミスを無くすことが出来るクレジット取引処理装置を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 この目的を達成するために本発明のクレジット取引処理装置は、少なくとも会社コードを記憶するクレジットカードからクレジットカードに記憶された内容を読み取ることができるカード読み取り手段と、会社コードまたは取引に関するデータを入力するためのデータ入力手段と、会社コード別取引方法を記憶した記憶手段と、可能な支払い手段を表示する表示手段を備えている。

【0006】

【作用】 上記の構成を有する本発明のクレジット取引処理装置は、クレジットカードに記憶された内容をカード読み取り手段にて読み取り、取引に関するデータをデータ入力手段から入力し、前記カード読み取り手段にて読み取られたクレジットカードに記憶された会社コードまたはクレジットカードに会社コードが入っていない場合はキーボード等の入力手段により会社コードを入力し、会

社コード別取引方法を記憶した記憶手段よりデータを読み取り可能な支払手段を表示することにより各会社別の支払方法を操作人が記憶することも、調べる必要もなく表示されたものから簡単に間違えることなく指定することができる。

【0007】

【実施例】 以下、本発明を具体化した一実施例を図面を参照して説明する。

【0008】 図1は本発明の装置外観状態を表した斜視図、図2は側断面図である。符号1は装置の本体、符号2はクレジットカードのカード読み取り手段3に対するカード挿入部、符号4はデータ入力手段としてのキーボード、符号6は本体1にコードを介して接続されたクレジットカード利用者本人確認用の暗証パッドである。暗証パッド6には、クレジットカード利用者が暗証番号を入力するためのテンキーボード、クリアキーを備える。

【0009】 前記本体1の上面には、その前部寄り部位に設けたキーボード4の上面を覆うように表示カバ一体7を回動可能に構成し、表示カバ一体7の下面には、LCDパネル等から成る表示部8を備え、表示部8は、入力したデータ等の情報を表示する。なお、表示部8の下方に隣接して後述のファンクションキー一部の一部を備えるようにしてもよい。

【0010】 前記表示カバ一体7の基端は本体1上面前後中途部の左右両側に支軸9を介して回動自在に支持され、クレジット取引処理装置を使用しないときには、前記キーボード4を覆うように表示カバ一体7を閉じ、ストップレバー10にて本体1に固定される。本装置を使用するときには、前記ストップレバー10を外して表示カバ一体7を前記支軸9に関連して設けた回動角度保持手段を介して任意の角度に開いた姿勢を保持するように構成する。

【0011】 本体1内に設けたモジュール37により、前記暗証パッド6やキーボード4によって入力された取引データをクレジット会社に対応するセンターに設置したホストコンピュータと交信するように電話回線にて接続されている。

【0012】 本体1の後端に対して着脱自在なペーパーカセット12から成る伝票収納部に収納した売上伝票11は、ピントラクタ12aにて伝票作成手段としての印字装置5に送られ、前記キーボード4より入力した金額等や、前記ホストコンピュータと交信した情報等を印字して本体1上面の伝票出口13より出す。

【0013】 前記キーボード4は、営業キー部と、支払区分キー部と、商品コードや金額等の数字を置数するためのテンキー部と、ファンクションキー部とに大別され、営業キー部は売上げキー20、クレジットカードの有効性を確認するための事前承認キー21、照会キー22、取消返品キー23などを含み、支払区分キー部は支払い方法を指定するための一括払いキー24、ボーナス

3

払いキー25、分割払いキー26等を含み、ファンクションキー部には、一括送信キー、一括送信確認キー、終了実行キー、セットキーなどが設けられている。

【0014】図3は、本発明の装置のブロック図で、符号34は中央処理装置(CPU)、符号35は制御プログラムが格納された読み取り専用メモリ(ROM)、符号36はクレジットの取引業務処理のための各種メモリが収納された読み書き可能メモリ(RAM)、符号38は時間を計時する時計回路、符号41はRAM36、時計回路38を装置電源OFF時にバックアップするバッテリ回路であり、CPU34はROM35のプログラムに基づきRAM36に対してデータの書き込み、読み出しを行うと共に、表示部8、キーボード4、印字装置5及びモデム37等の各種入出力動作を制御する。

【0015】CPU34はカード読取手段3でクレジットカードの入力があると、ROM35のプログラムによって図4、5、6に示すサブルーチンフローチャートの処理を実行する。

【0016】例えば、クレジットカードが入力されてクレジット取引が始まったとすると、クレジットカードの読み取りで使用カードのカード会社等のカード情報を読み取りRAM36に書き込む。次に、クレジットカード利用者が暗証番号を入力して本人確認を行なう。続いて、キーボード4からの入力を受け付け、業務区分操作について、売上げキー20、事前承認キー21、照会キー22、取消返品キー23のいずれかを押下し、これらのキー操作を正常終了させる。次いで、金額等の販売データを入力し、これらのキー操作を正常終了させる。次に、支払区分操作で、CPU34 RAM36に格納されたカード情報を検索し会社コードを探す。ない場合は会社コードを入力するように表示し、キーボード4より入力される。会社コードにより可能な支払方法を選択する。例えば、分割払いの場合は、可能な回数を表示選択し正しい入力を終了する。分割回数指定画面の例を図7に示す。

【0017】以上の操作後、カード会社に対応するセンターに、読み取られたクレジットカードに記憶されたカードナンバー等の内容またはキーボード4より入力された取引データをモデム37を介してクレジットカード会

4

社のセンターコンピュータに伝送し、処理結果データを受信し、RAM36に格納し、取引データを印字装置5にて印字を実行して売上伝票11を作成し、この売上伝票11は伝票出口13でミシン目で切取りするのである。

【0018】なお本実施例ではクレジット取引処理装置について説明してきたが、その主旨を逸脱しない範囲において種々の変更を加えることができる。

【0019】例えば、支払い方法、分割回数などは別々に指定することで説明したが、すべてを画面に表示し、または、スクロールで見る場所を変えることにより、一度に選択することも可能である。

【0020】

【発明の効果】以上説明したことから明かなように、本発明のクレジット取引処理装置ではクレジットカード内に記憶する会社コードまたはカードに会社コードが入っていない場合はキーボードから入力することにより記憶装置に記憶された使用可能な支払方法、回数を画面に表示し、その中から選択することにより簡単に間違いなく指定することができる効果がある。

【画面の簡単な説明】

【図1】本発明の装置の外観斜視図である。

【図2】本発明の装置の概略側断面図である。

【図3】本発明の装置のブロック図である。

【図4】クレジット取引業務処理のサブルーチンフローチャートである。

【図5】クレジット取引業務処理のサブルーチンフローチャートである。

【図6】クレジット取引業務処理のサブルーチンフローチャートである。

【図7】分割回数指定画面の例を示す図である。

【符号の説明】

3 カード読取手段

4 キーボード

5 印字装置

11 売上伝票

12 ペーパーカセット

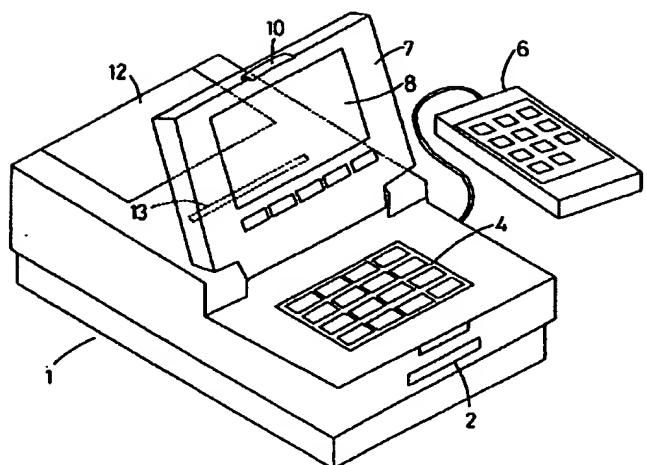
37 モデム

【図7】

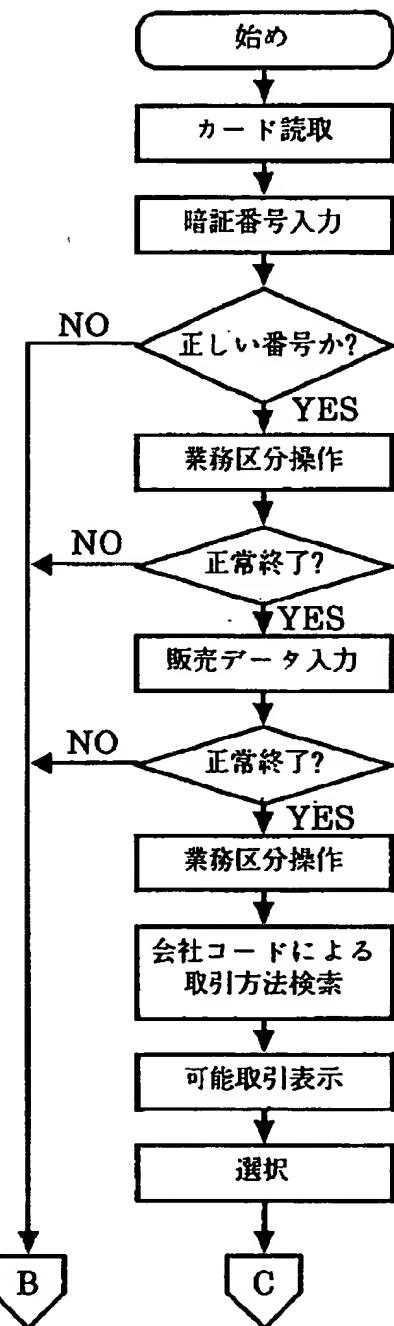
分割払い回数は以下のなかから
お選びください。

12/24/36/48 回

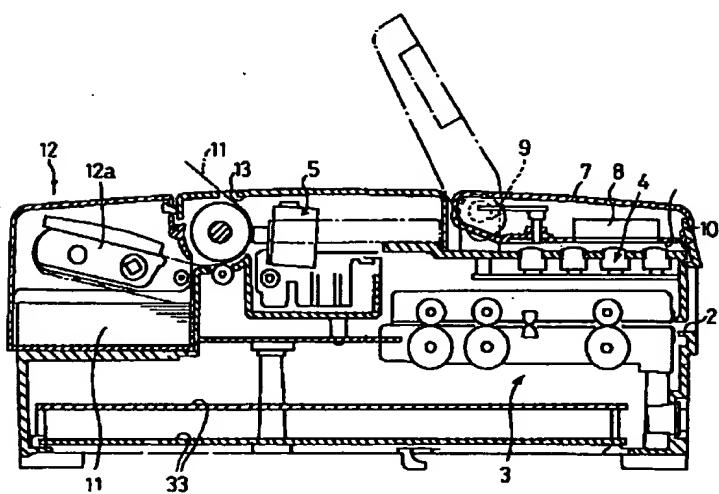
【図1】



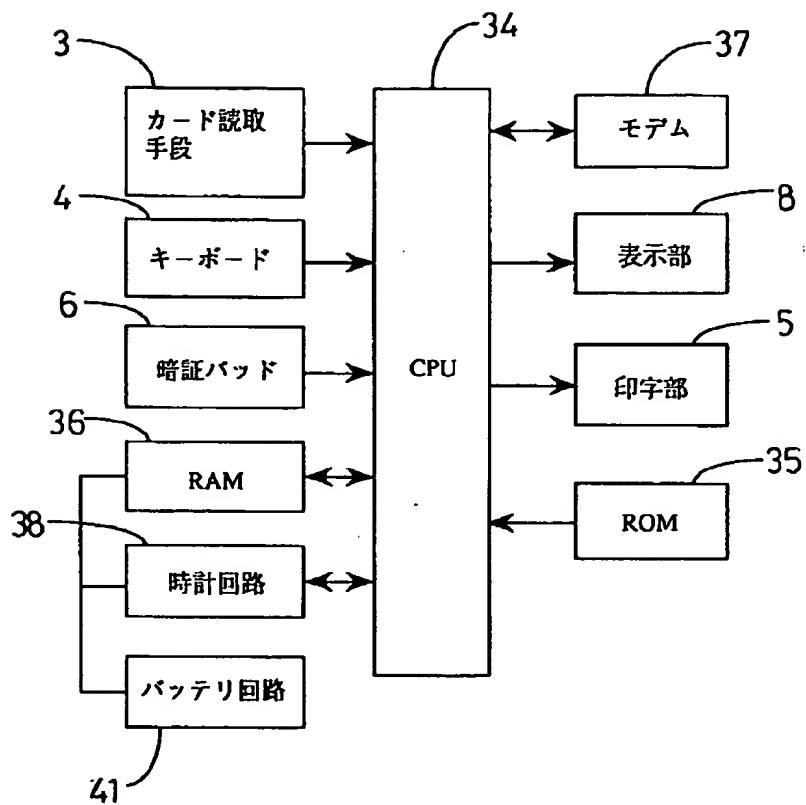
【図4】



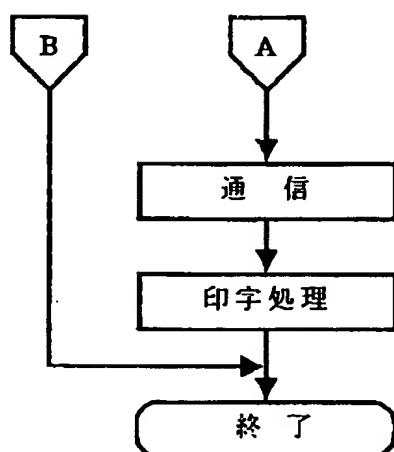
【図2】



【図3】



【図5】



【図6】

